

2026 年 8 月 20 日

九州旅客鉄道株式会社

九州電力株式会社

株式会社エンバイオ・ホールディングス

芙蓉総合リース株式会社

株式会社シーアールイー

太陽光で新幹線を動かす！

～JR 九州初 運転用電力の一部へオフサイト PPA 導入～

九州旅客鉄道株式会社（以下、JR 九州）、九州電力株式会社（以下、九州電力）、株式会社エンバイオ・ホールディングス（以下、EBH）、芙蓉総合リース株式会社（以下、芙蓉リース）、及び株式会社シーアールイー（以下、CRE）は、オフサイト PPA※を活用し、JR 九州において初めて列車の運転用電力として、九州新幹線鹿児島ルートへ再生可能エネルギー由来の電気（以下、「再エネ電気」）の供給を5社共同で行うことといたしました。

本取組みでは、CRE が開発・運営する物流施設の屋根上に設置した太陽光発電設備で発電した電気を、九州電力を通じて九州新幹線鹿児島ルートへ供給します。これに伴い、JR 九州、九州電力、並びに EBH 及び芙蓉リースが共同出資する合同会社の3社は、オフサイト PPA による再エネ電気の供給に関する契約を締結いたしました。

今後も、引き続き CO₂ 排出量ゼロの実現に向けた取組みを推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※ 電気を使う需要家が、自分の敷地から離れた場所（オフサイト）で発電された電気を、送配電網及び小売電気事業者を介して供給を受けるモデル。

1 供給開始時期

2027 年 8 月より順次供給開始

2 供給場所

JR 九州 九州新幹線鹿児島ルート 運転用電力

3 供給規模

発電所出力 約 8,000 [kWdc] （福岡県・佐賀県）

年間発電量 約 980 万 [kWh]

CO₂ 排出量削減効果 約 4,600 [t-CO₂] 一般家庭約 1,800 世帯分

4 スキーム



以 上